

最近の東京湾にて (2026年1~2月)

会員 福富 廉 (2026年2月24日)

0. 【速報】「ディズニー・アドヴェンチャー」東京寄港 (2月24日)

報道にもあるように、ディズニークルーズの新造船「ディズニー・アドヴェンチャー」が24日、東京港に来航した。当初は昨年12月に就航する予定だったが、工事の遅れから3か月延期になり、その12月に完成して、プロモーションのためだろう、遠回りの西回りで、ディズニーの拠点、アメリカのオーランドとロサンゼルスに寄港したあと、太平洋を渡って東京にやってきた。

あまり言われていないが、本船は来日したクルーズ船の中では、総トン数と幅は最大だが、長さは最大では無いことに、ある時、気がついた。垂線間長のデータが見つからないが、代わりに全長で見てもL/Bが最も小さい(アイコン・クラスよりも小さいが、MSCワールド・クラスはより大きい)。

「ディズニー・アドヴェンチャー」 208,100GT 全長 342.00m 幅 46.4m

「MSC ベリッシマ」 171,598GT 全長 315.83m 幅 43.0m

「クウォンタム・オブ・ザ・シーズ」 168,666GT 全長 347.10m 幅 41.0m

「クイーンメリー2」 148,528GT 全長 345.10m 幅 41.0m

私が行った台場の青海南ふ頭公園では、平日にもかかわらず、早朝から多くの人が待ち構え、予想通りと言うか、ディズニーのグッズを手にしたディズニー・ファンも多く見られた。



色々な角度から撮影



「宗谷」と2ショット



久々の東京港で“船の科学館”が無くなったのを知らなかった



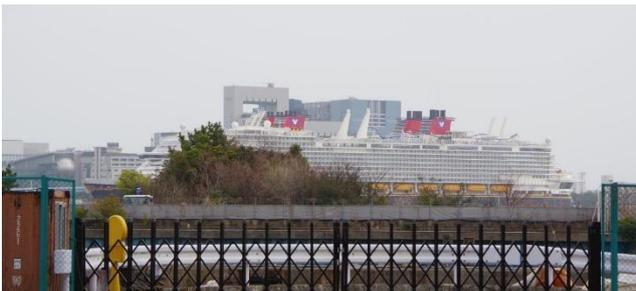
クルーズターミナルは終日立入禁止、東京都は公式には“船名不詳”扱いだったが、入港当日、船名が出た



テレコムセンター駅傍の東京臨海部広報展示室“TOKYO ミナトリエ”(20F)より



ディズニークルーズ特有の船首／船尾のキャラクターマーク。特に船尾は立体彫像が付いて、本船は初めて、ミッキーマウス（船長）とミニーマウス（昔は一等航海士だったが今は副船長）の2人が揃っている。船尾のガラス張りは、ローテーション・ダイニングの6つのうちの1つ、8Fの“ハリウッド・スポットライト・クラブ”



クルーズターミナルの対岸の公共の場所からはこれが限度か??



この朝、アドベンチャーより45分早く東京湾に入って来た「ダイヤモンド・プリンセス」の横浜出港。スカイウォークでの撮影を目論んだが休館だった。

1. 「ジャオ・シャン・イ・ドゥン」日中通過（1月4日、2月2日）

「ジャオ・シャン・イ・ドゥン（ヴァイキング・エデン）」が日中、東京湾を通過した。

（1）1月は東京港への入港時で中ノ瀬航路の東側を通過



（2）2月は横浜港からの出港時で中ノ瀬航路の西側を通過



2. 「にっぽん丸」最後のドックへ（1月12日）

「にっぽん丸」としては最後のドックで、横浜港から和歌山県の常石由良ドックへ向かった。



3. 「アイダ・ディーヴァ」日中通過（1月14日）

「アイダ・ディーヴァ」が世界一周の途次、釜山から来て、富士山を向こうに東京港へ向かった。



4. 「きそ」ドック

入渠と出港（1月16日、2月2日）

太平洋フェリーの「きそ」が今年も三菱重工横浜製作所本牧工場に年次ドックでやって来た。最近、東京湾でドックするのは本船くらいで、とても珍しくなった。

三菱もこれ以外は艦船だけだ。



(写真左)
船首の上に富士山が見える

(写真下右)
船首の奥の
東京九州フェリーの
「はまゆう」と
2ショット



5. 「みらい」の一般公開（1月25日）

退役した海洋地球研究船「みらい」の最後の一般公開が横須賀新港（東京九州フェリーのターミナル）で行われたので行って見たが、1km近くにもおよぶ大行列で断念し、船の撮影だけしてきた。



本船は、元原子力船の「むつ」で前半分は元のままに近いが、後半分はほぼ新造に近いようだ

(下左) むつ市の関根浜港で係留されていた原子力船「むつ」
(1976年7月撮影)

(下右) 「みらいII」の近影
試運転が始まっているようで、今年秋就航予定



6. 「コスタ・デリチオーザ」東京港入港（2月7日）

(1) 「コスタ・デリチオーザ」がラバウルから東京港に日中入港してきた。当日は悪天候のため、羽田空港近くの城南島海浜公園から撮影した。



(写真左)
「レディクリスタル」と
反航した

(写真最下段右)
スカイツリーを背にした
「レディクリスタル」
後継船が2027年就航予定
なので、あと1年くらい
か？



(2) この時のシップウォッチング。2021年7月まで横浜港内の遊覧船として活躍した「マリンシャトル」が発見されているのを発見。京浜島の安田造船所（プレジャーボートのマリーナ）に係留されていた。海外のボートメーカーのロゴ入り看板を上部に背負っており、作業場や倉庫として使われているのではないだろうか。



7. 「はくおうⅡ」(元、新日本海フェリーの「はまなす」) 東京港入港 (2月13日)

「はくおうⅡ」が東京港に向かうところを中ノ瀬航路で捉えた。東京港では海の森公園傍の日通の岸壁に着岸したようで、昼に西航路から入って、同日夕方、東航路から出て行った。



8. その他のトピックス、シップウォッチング

(1) 昨年11月に完成したばかりのプリンス海運のRORO船「プリンセス ベル」と出会った。本船は2021年5月に来島海峡で衝突・沈没した「白虎」の代船だそうだ。丸いベンチレーターが新鮮。



(2) まさに箱船、という感じの中国系 RORO 船 (パナマ船籍) に出会ったので取り上げたい。ランプウェイは右舷に1つだけで露天甲板にもびっしり車が並んでいた。開口が無い上に排気口が全く見えなかったが、どうなっているのだろうか。



パナマ船籍の
中国系 RORO 船
「ZHONG HAI 777」
11,596DWT



(3) 2月3日に中国の常石グループ (舟山) 造船有限公司で竣工したばかりのメタノール2元燃料新造コンテナ船「MAERSK FINISTERRE」(5,900TEU) が横浜港南本牧に来港していた。コンテナが載っていない、高い喫水線とラッシングブリッジだけの姿が初々しい。



(4) 「はくおうⅡ」の通った後に、「セブンアイランド結」が、すぐ傍を通過して行った。低い位置からの高速走行写真はあまりないのではないかと思います、掲載してみる。“Ships Monthly”誌の最新号(2026年2月号)にも川崎重工でジェットフォイルが久々に新造されるニュースが載っていた。九州郵船の船で2029年6月完成予定だ。



(5) 瀬戸内海の渡し船のような横須賀市の油回収補助船兼車両運搬船兼オイルフェンス展張訓練船「ホエールⅡ」。これでも2軸船で、2023年8月福山市の本瓦造船で竣工した。左は「みらい」の顔。



9. その他のニュース

2月10日、東京湾フェリーの「かなや丸」がリプレースされるとの報道があった。新船は常石グループとベルギーの海運大手CMBの合弁による「ジャパンヒドロ」が常石造船に発注する3,850GTの水素燃料併用型の電気推進両頭フェリー(ダブルエンダー)を東京湾フェリーが裸用船する形で運航するとのことで、2027年11月の就航予定だそうだ。